

■リーグ名 : 四国アイランドリーグplus

■リーグ理事長 : 坂口 裕昭 ※2018年2月1日就任

■運営会社名 : 株式会社IBJ

■代表者名 : 小崎 貴紀 ※2018年3月15日就任

■社員数 : 3名

■主要株主 : ZEONIC JAPAN(株)、データスタジアム(株)、四国電力(株)、  
四国旅客鉄道(株) ほか

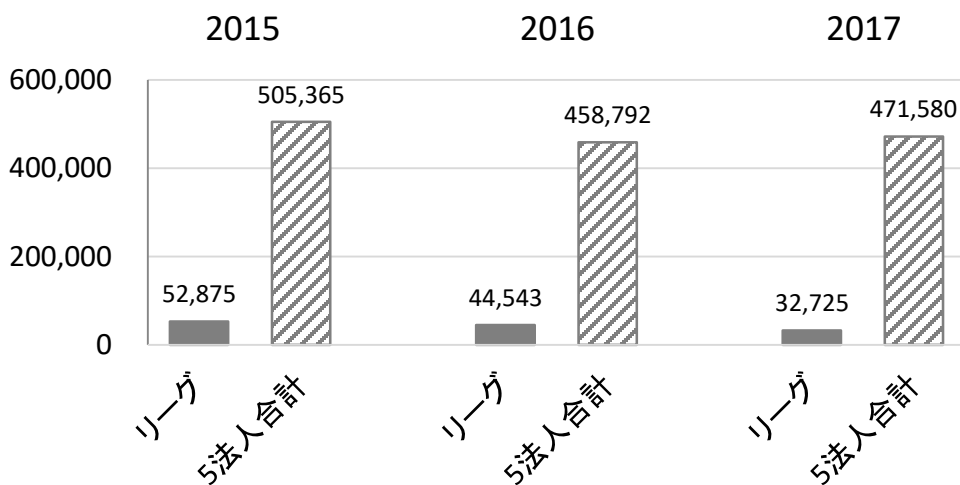
■主要スポンサー名 : コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)、アサヒビール(株)、  
読売新聞大阪本社 ほか

■NPB実績 : 選手:61名【ドラフト本指名19名、育成指名34名、復帰・移籍8名】  
指導者:16名、審判:11名、球団スタッフ(BP、BC、スカウトほか)27名

■概況 :

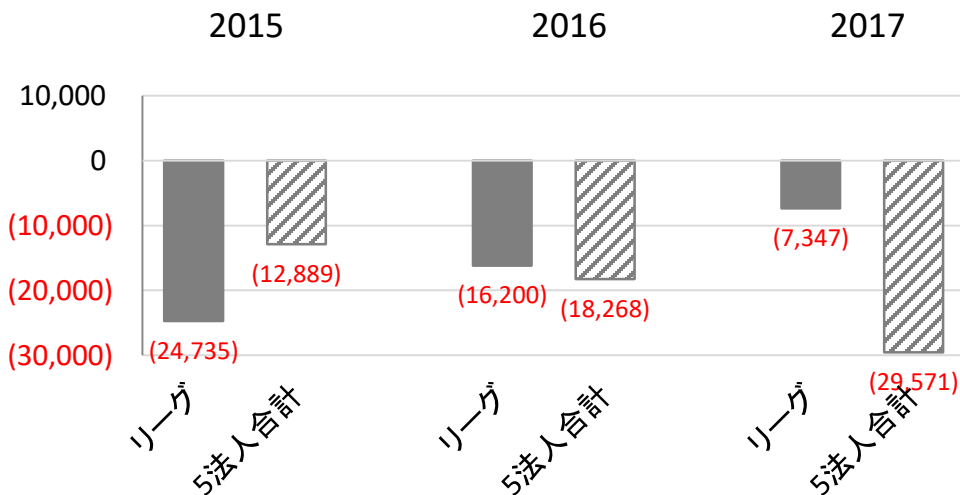
### 収入

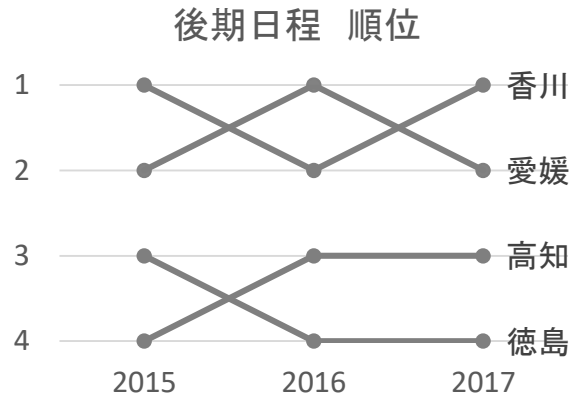
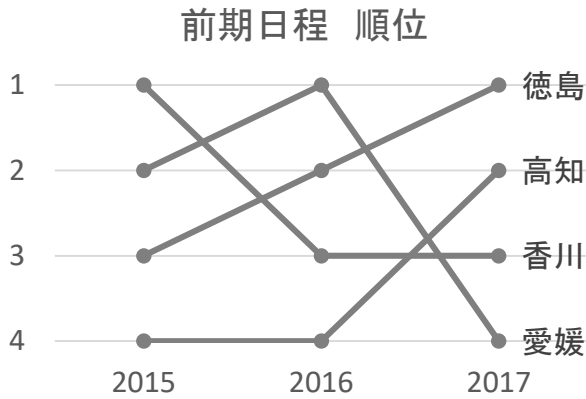
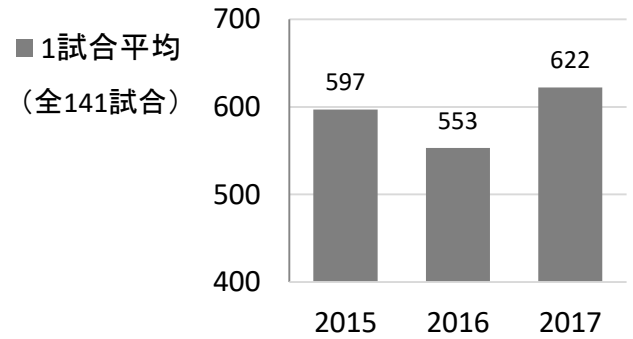
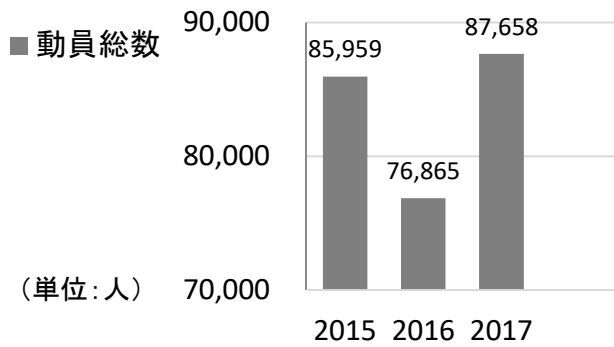
(単位:千円)



### 経常利益

(単位:千円)





## ■ プレーオフ優勝チーム

CS	2015…愛媛	2016…愛媛	2017…徳島
GCS	2015…愛媛	2016…(群馬)	2017…徳島

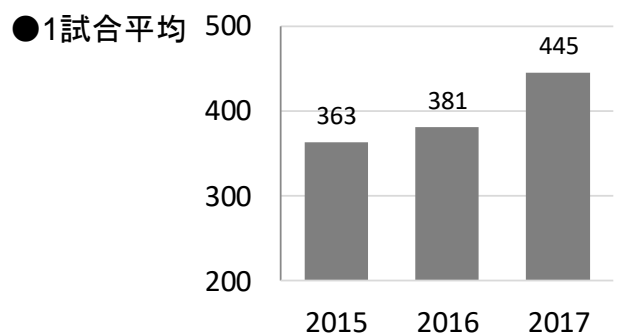
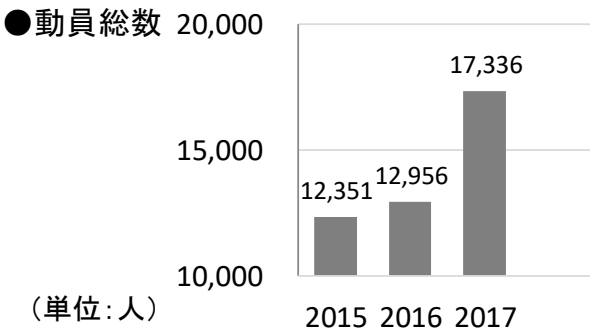
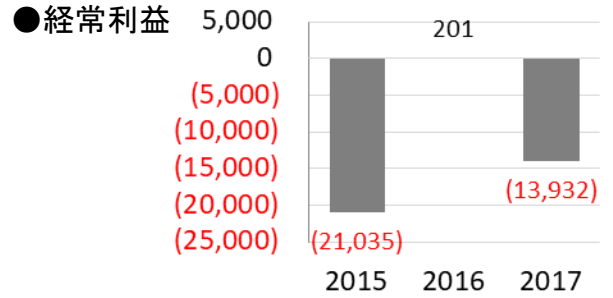
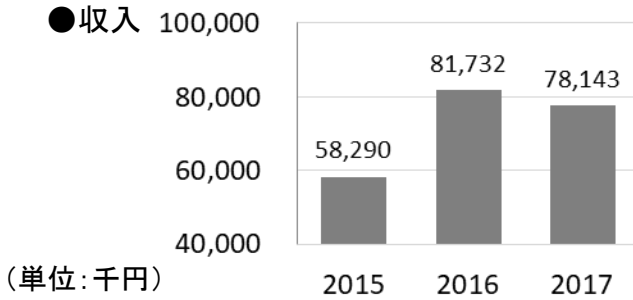
## ■ 2017年度ノトピックス

- 1試合平均の観客動員数は7年ぶりに600人台を回復
- 4球団中2球団が単年度黒字を達成
- ドーム社(アンダーアーマー)とオフィシャルパートナー契約を締結し、新たなイメージ戦略を展開
- リーフラス社と連携し、リーグ主導によるアカデミー事業を展開
- 一球毎の新たなデータ入力システムをリーグ主導で開発し、試験導入を実施
- リーグ創設から13年連続でNPBへ選手輩出(本指名1名、育成指名1名/伊藤は過去2番目に高い3巡目指名)
- 公式記録の管理体制を整備(NPB、BCLと合同で記録会議を実施)
- 1試合の平均試合時間は2時間58分(辛うじて3時間は切ったものの昨年比で2分伸長)

## ■ 2018年度ノシーズン展望

- ガバナンスの整備(リーグ運営組織の機能及び意思決定手続の明確化、適切な人員配置ほか)
- 外部人材の積極登用、外部組織との積極的な連携による営業・PR体制、価値創出体制の整備
- 健康、福祉、教育、防災、観光など地域の社会的、経済的課題を解決するための新規事業の創出
- JTBとの包括連携協定締結によるインバウンド誘致事業、国内法人向けパッケージ商品の展開
- データ入力システムの本格導入及び一球速報の独自配信等、ITを活用した事業展開の推進
- 3人制バスケのトップリーグ「3×3.EXE PREMIER」への新規参入
- スポーツマンシップをキーワードにした人間教育の場としての価値創出及びアカデミー事業の更なる推進
- OBの主導によりアスリート人材のキャリアを考えるキャリアデザインプロジェクトの始動

- 球団名：徳島インディゴソックス
- 運営会社名：株式会社パブリック・ベースボールクラブ徳島
- 代表者名：南 啓介
- 社員数：2名
- 主要株主：(株)Wood Stock、(株)明和クリーン、ほけんショップミヨシ、(株)あしたのチーム
- 主要スポンサー名：(株)セイア、阿波製紙(株)、ゆめタウン徳島、徳島トヨペット(株)
- NPB輩出実績：ドラフト指名14名、外国人移籍3名
- チーム成績(2017年度)：前期…優勝 後期…4位 プレーオフ…総合優勝
- 概況：



※ ホーム最多動員 1,208人【8/18 vs読売巨人軍3軍@JAバンク徳島スタジアム】

## ■2017年度／トピックス

- ①NPBドラフト会議にて2名の指名を受けました。  
(伊藤翔 埼玉西武ライオンズ3巡目、大蔵彰人 中日ドラゴンズ育成1巡目)
- ②台湾プロ野球ヘチエンジエ選手が6月3日に移籍しました。
- ③中国プロ野球、天津ライオンズ球団をキャンプ地誘致に成功しました。(徳島県阿南市)
- ④動員総数は昨年の1.33倍となり、地元四国大学との取組、シルバー層の拡張が大きく影響しました。

## ■2018年度／シーズン展望

- ①台湾、中国野球との交流の強化、6月、7月、9月にキャンプ地としての誘致を準備しています。
- ②地元大学との取組を強化します。
- ③地元企業との連携を強化し、集客の山を作ります。(飲食店組合)
- ④球団3事業を強化します。(野球事業、飲食事業、整骨院ジム事業)

■球団名 : 高知ファイティングドッグス

■運営会社名 : 高知ファイティングドッグス球団株式会社

■代表者名 : 梶田 宙

■社員数 : 6名

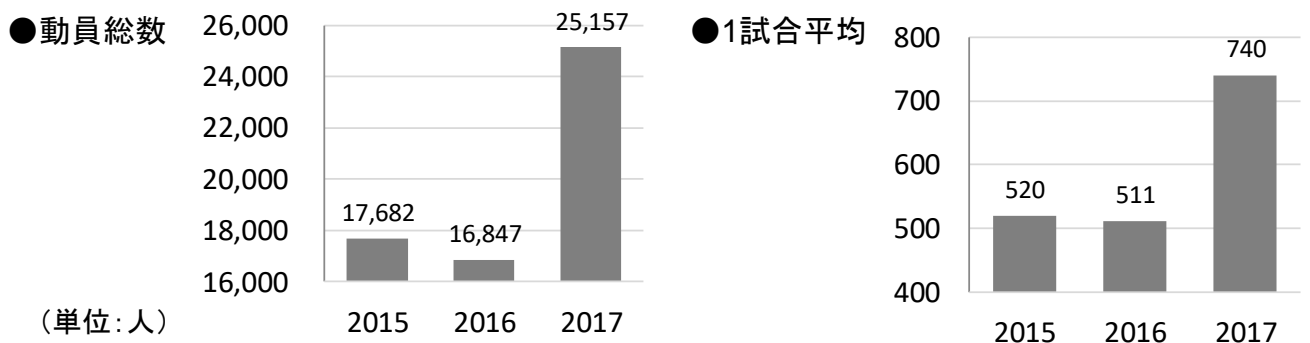
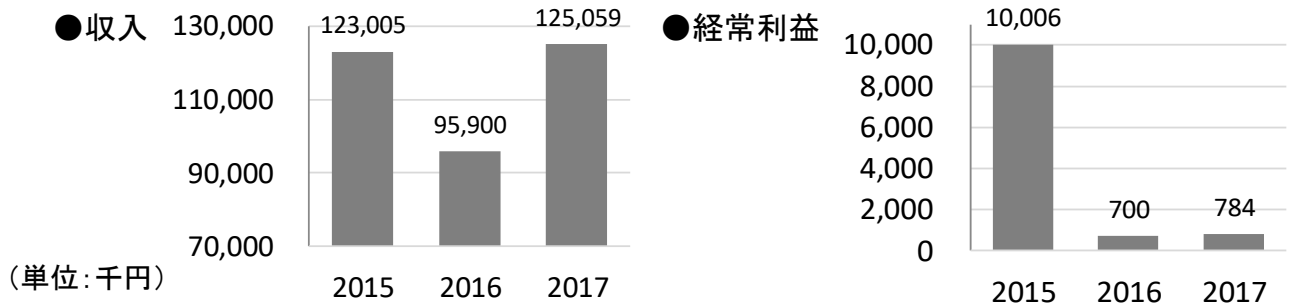
■主要株主 : アクト不動産(株)、(株)日本トリム

■主要スポンサー名 : (株)日本トリム、(株)セイアホールディングス、(株)アルファコーポレーション

■NPB輩出実績 : ドRAFT指名6名、移籍1名、外国人移籍1名

■チーム成績(2017年度) : 前期・・・2位 後期・・・3位

■概況 :



※ ホーム最多動員 1,935人【4/1 vs福岡ソフトバンクホークス3軍@高知球場】

#### ■2017年度／トピックス

①元メジャーリーガーのマニー・ラミレス選手の入団による全国へのPR

→入団記者会見は41社、100人以上のマスコミの方に集まって頂きました。

②過去最多の観客動員

→マニー選手の活躍や球場のイベントなどの効果もあり、1000人を超える試合を沢山行うことができました。

③アカデミー事業を開始(有料の練習生)

→ホームタウン越知町の空き家対策として、空き家を借りて越知町に住みながら高知FDの練習に参加しています。  
(韓国2名、アメリカ1名、日本人3名)

④海外チームとの交流

→初のチーム単独の海外遠征を台湾で行い、野球交流ができました。インバウンド事業として、アメリカとカナダの学生3チームを受け入れ、高知FDとの野球交流を行い、高知県に宿泊するキャンプ誘致もできました。

⑤2014年より4期連続黒字決算

→大口のスポンサーの減額はありましたが、マニー選手へのスポンサーや小口を少しずつ増やすことができました。

#### ■2018年度／シーズン展望

①2009年以来の日本一、2011年以来のNPBドラフト指名を目指します。

②アカデミー事業を確立させます。

→さらに、越知町の空き家を活用して選手の受け入れを増やしていきます。

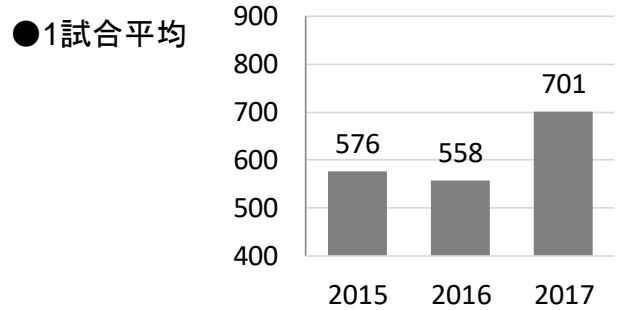
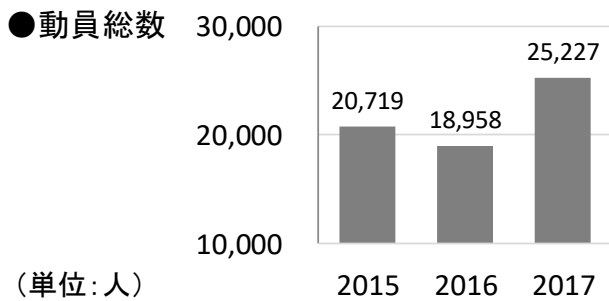
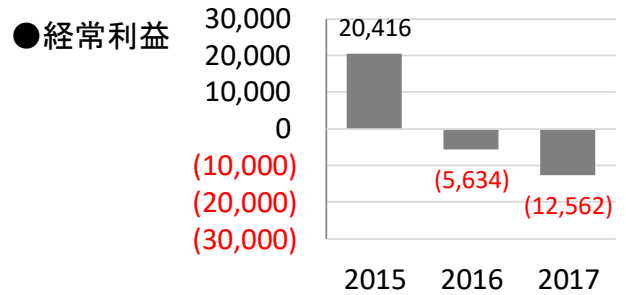
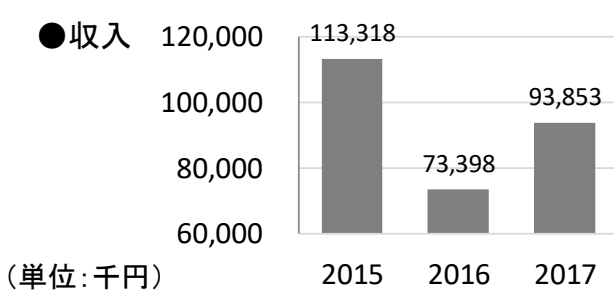
③海外からのインバウンド事業を確立させます。

→今年も海外から学生を受け入れ予定です。さらに、JICAとの繋がりでパラグアイなど南米の日系人野球指導者の指導者研修を高知FDで受け入れ、毎年の事業にしていきます。

④5期連続の黒字を目指します。

→日本トリムの大幅な減額がありましたが、さらなるスポンサーの獲得と、支出を減らし、2016年並みの9千万円台の予算を目指します。

- 球団名 : 香川オリーブガイナース
- 運営会社名 : 香川オリーブガイナース球団株式会社
- 代表者名 : 三野 環
- 社員数 : 4名
- 主要株主 : (株)ヘンミ、(有)シンウェイ、(株)サクセス、四国にぎわいネットワーク
- 主要スポンサー名 : (株)セイア、(株)フソウ、(株)三祥、今治造船(株)、カセイ物産(株)
- NPB輩出実績 : ドraft指名24名、外国人移籍2名
- チーム成績(2017年度) : 前期…3位 後期…優勝
- 概況 :



※ ホーム最多動員 2,964人【8/29 vs読売巨人軍3軍@四国コカ・コーラボトリングスタジアム丸亀】

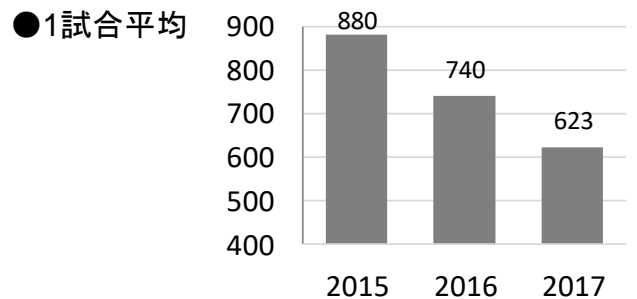
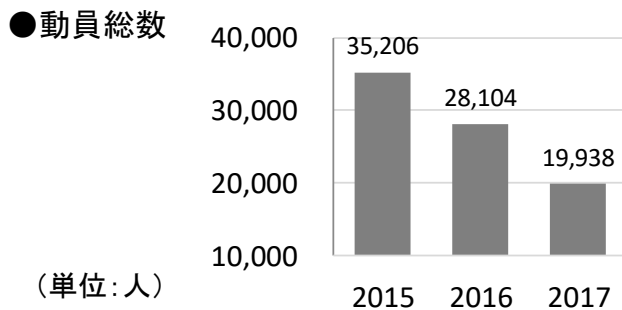
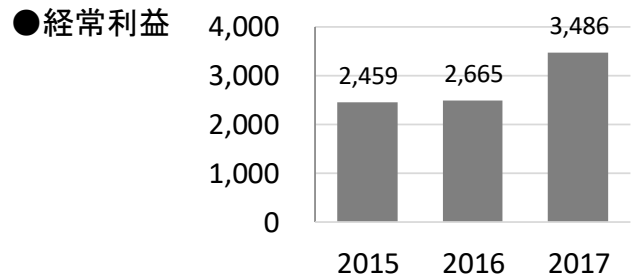
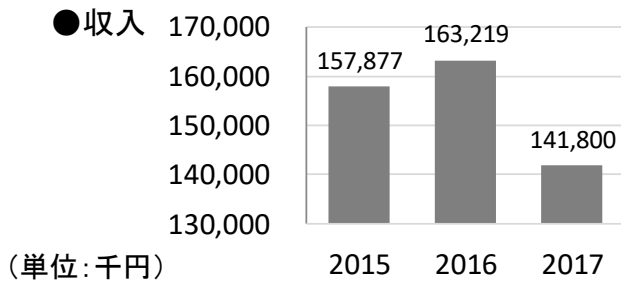
### ■2017年度／トピックス

- ①原辰徳氏による始球式での集客効果もあり、最多動員数は昨年の1.73倍となりました。
- ②11年続いていたdraft指名が途絶えたことで、対策を改めて考えるきっかけとなりました。
- ③前期債務免除益を計上し、当期で1,445万円の納税がありました。

### ■2018年度／シーズン展望

- ①投手コーチを2名体制にすることで選手の指導に重点を置くとともにNPB輩出を確実にします。
- ②過去最多の観客動員数を目指します(2007年5586名)。
- ③球団に属する個々の責任と役割を明確にし、チームの団結を図ります。

- 球団名：愛媛マンダリンパイレーツ
- 運営会社名：愛媛県民球団株式会社
- 代表者名：薬師神 績
- 社員数：8名(出向その他社員含む)
- 主要株主：愛媛県、県内20市町、(株)愛媛銀行、大王製紙(株)、星企画(株)
- 主要スポンサー名：(株)愛媛銀行、大王製紙(株)、(株)ビージョイ、太陽石油(株)、(株)フジ
- NPB指名実績：ドラフト指名7名、復帰1名
- チーム成績(2017年度)：前期…4位 後期…2位
- 概況：



※ ホーム最多動員 2,282人【4/16 vs香川オリーブガイナーズ@坊っちゃんスタジアム】

## ■2017年度／トピックス

- ①観客動員数は117人/1試合減となったが、年間200回を超える地域貢献活動の実施で県民球団としての存在感を高めることができました。
- ②台湾遠征を通じた国際交流、チーム間での選手派遣交流を行いました。
- ③2012年度以降、6期連続黒字決算となりました。

## ■2018年度／シーズン展望

- ①後援会員の増強と、1試合あたりの集客増に努めます。
- ②年間総合優勝とドラフト指名を目指します。
- ③挨拶リーグNO1のチームづくりを目指します。